

# 行政 トピックス

東洋医学のスペシャリスト  
として地域の医療に貢献

— 明治国際医療大学スタート —

およそ800人が学ぶ明治鍼灸  
大学（日吉町保野田）が今年4月  
から「明治国際医療大学」に大学  
名を変更されました。

同大学は、昭和53年に明治鍼灸  
短期大学として開設。昭和62年に



▲4月から明治国際医療大学に名称を変更



▲日吉ダムマラソンでランナーをサポートする学生ら

は、歯学部以外では日本初の大  
学附属病院を設置されました。創  
立30周年を機に、東洋医学に関し  
て国際的にも卓越した教育研究拠  
点となることを目指し、大学名を  
新たにされました。

最近、鍼灸、柔道整復分野では  
スポーツトレーナーやスポーツ選  
手のケアに必要な資格の取得を目  
指す学生が増加しています。大学  
の特長を生かし日吉ダムマラソン  
では、教員スタッフや学生がスポ  
ーツケアコーナーを設置。けが予  
防のためのストレッチ指導や競技  
後の疲労炎症へのアイシングなど  
が行われました。

今後も教育研究機関の役割とと  
もに地域医療の一翼を担う活動を  
展開されます。

地元雇用の人材確保に  
口丹波の企業がアピール

— ものづくり産業就業フェア —

5月26日、口丹波地域で操業す  
るものづくり企業を紹介する「も  
のづくり産業就業フェア」が府立  
口丹波勤労者福祉会館（八木町西  
田）で開かれました。

府南丹広域振興局が企画し、初  
めて開催された同フェアは、23社  
の出展企業ごとにブースを設置。  
学校の就職指導者や就職活動中の  
学生らが、優れた技術や製品の内  
容や、雇用計画などの説明に聞き  
入っていました。



▲企業の担当者から説明を受ける参加者



▲輪をめぐってフライングディスクを投げる参加者

自分のペースで伸び伸びと  
体を動かし楽しくスポーツ

— 障害者ふれあい広場 —

5月18日「第42回障害者ふれあ  
い広場」が府立丹波自然運動公園  
（京丹波町）で開かれました。

障がいのある人の社会参加を促  
し、交流を深めることを目的に開  
催された大会に、南丹市からはお  
よそ140人が参加。フライング  
ディスク投げや大玉転がし、玉入  
れなど、参加者は自分のペースで  
伸び伸びと体を動かして競技を楽  
しみました。結果は、南丹市・京  
丹波町の合同チームが昨年に続け  
て優勝しました。